

世界禁煙デーについて

1. 経緯

昭和 62 年 5 月の第 40 回 WHO（世界保健機関）総会において、WHO 発足 40 周年目に当たる昭和 63 年 4 月 7 日を「世界禁煙デー」(World No-Smoking Day) とすることが決議された。

さらに平成元年 5 月の第 42 回 WHO 総会において、同年以降、毎年 5 月 31 日を「世界禁煙デー」(World No-Tobacco Day) とすることが決議された。

2. 目的

WHO では「世界禁煙デー」を、喫煙者に対して喫煙を控えるように呼びかけるとともに、各国政府、自治体、団体、個人に対して喫煙と健康問題の認識を深め、適切に実践するよう求める日であるとしている。

3. スローガン

WHO 及び厚生労働省では、「世界禁煙デー」に関するスローガンを毎年定めており、平成 21 年度のスローガンは、「警告！たばこの健康被害」である。

なお、これまでの標語は以下のとおりである

第 1 回：昭和 63 年：「たばこか健康か：健康を選ぼう」

第 2 回：平成元年：「プラスにされる女性喫煙者への危機」

第 3 回：平成 2 年：「子供に無煙環境を」

第 4 回：平成 3 年：「公共の場所と交通機関は禁煙に」

第 5 回：平成 4 年：「たばこの煙のない職場：もっと安全にもっと健康に」

第 6 回：平成 5 年：「ヘルスサービス：たばこのない世界を開く窓」

第 7 回：平成 6 年：「メディアとたばこ：健康のメッセージをひろめよう」

第 8 回：平成 7 年：「想像以上に大きいたばこの損失」

第 9 回：平成 8 年：「スポーツと芸術を通じてたばこのない世界をつくろう」

第 10 回：平成 9 年：「手をつなごう！たばこのない世界をめざして」

第 11 回：平成 10 年：「無煙世代をそだてよう！」

第 12 回：平成 11 年：「たばこに、サヨナラ」

第 13 回：平成 12 年：「その 1 本 みんなの命 けずられる」

第 14 回：平成 13 年：「他人の煙が命をけずる：受動喫煙をなくそう」

第 15 回：平成 14 年：「たばことスポーツは無縁(無煙)です。-きれいにやろう!-」

第 16 回：平成 15 年：「たばこと無縁の映画やファッションへ行動を。」

第 17 回：平成 16 年：「たばこと貧困：その悪循環から逃れよう」

第 18 回：平成 17 年：「たばこに向かう保健医療専門家 行動と対策を」

第 19 回：平成 18 年：「たばこ：どんな形や装いでも命取り」

第 20 回：平成 19 年：「たばこ、煙のない環境」

第 21 回：平成 20 年：「たばこの害から若者を守ろう」